

## I 第5週の発生動向 (2014/1/27~2/2)

1. インフルエンザについては、患者報告数が前週の1,373人から1,962人に増加し、東地方+青森市保健所管内では**注意報**が発令されました。八戸、上十三保健所管内では第4週から**警報**が、むつ保健所管内では第4週から**注意報**が継続しています(詳細については、V県内インフルエンザ情報をご覧ください)
2. 感染性胃腸炎については、東地方+青森市保健所管内では第4週から**警報**が継続しています。むつ保健所管内でも定点あたり患者報告数が警報レベルに近くなっています。

## II 第5週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科 +内科 (85) インフルエンザ	138	10.6	147	9.8	877	62.6	65	9.3	627	69.7	108	18.0	1,962	30.7	589	8	8.0	130	10.8
小児科 (74) RSウイルス感染症	2	0.3	2	0.2			2	0.4	6	1.0			12	0.3	4			2	0.3
(75) 咽頭結膜熱	3	0.4	4	0.4							2	0.5	9	0.2	-2			3	0.4
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	0.9	17	1.9	29	3.2	3	0.6	4	0.7	1	0.3	61	1.5	0			7	0.9
(77) 感染性胃腸炎	154	19.3	82	9.1	29	3.2	14	2.8	36	6.0	72	18.0	387	9.4	-59			154	19.3
(78) 水痘	13	1.6	6	0.7	17	1.9			12	2.0	1	0.3	49	1.2	-31			13	1.6
(79) 手足口病															-2				
(80) 伝染性紅斑	1	0.1					3	0.6					4	0.1	-4			1	0.1
(81) 突発性発しん	2	0.3	1	0.1	2	0.2			6	1.0	1	0.3	12	0.3	1			2	0.3
(82) 百日咳															0				
(83) ヘルパンギーナ															0				
(84) 流行性耳下腺炎			3	0.3									3	0.1	-11				
眼科 (86) 急性出血性結膜炎															-1				
(87) 流行性角結膜炎	3	1.5											3	0.3	-7			3	1.5
基幹 (92) クラミジア肺炎															0				
(93) 細菌性髄膜炎															0				
(95) マイコプラズマ肺炎					1	1.0					2	2.0	3	0.5	2				
(96) 無菌性髄膜炎															0				
(101) 感染性胃腸炎(ロタウイルス)															-1				

は警報 は注意報。「空欄」:患者発生無し。

## III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

(10) 結核(二類全数把握疾患):青森市1人、弘前1人、東地方1人(2014年計:15人)

## IV 病原体検出情報( )内は、検査材料及び検体採取日、患者数です。

- ・上気道炎患者(咽頭ぬぐい液、鼻汁、H25.11/16~12/10)・・・ライノウイルス(HRV):弘前(1)、RSウイルスA:弘前(1)
- ・下気道炎患者(鼻汁、喀痰、H25.11/18~12/20)・・・マイコプラズマ:弘前(1)、HRV:弘前(3)、RSウイルスA:弘前(3)、RSウイルスB:弘前(6)、HRV及びRSウイルスB:弘前(2)、RSウイルスB及びヒトメタニューモウイルス:弘前(1)
- ・不明熱患者(直腸ぬぐい液、1/1)・・・HHV6B:八戸(1)
- ・その他の患者(咽頭ぬぐい液、11/12)・・・HRV:八戸(1)

## 感染症の窓

### 急性脳炎 (五類全数把握疾患)

急性脳炎の原因は、ウイルス、マイコプラズマ、真菌、寄生虫など多種多様です。ウイルスとしては、単純ヘルペスウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルス、麻疹ウイルス、風疹ウイルス、水痘帯状疱疹ウイルスなどがあります。症状も様々ですが、一般的には発熱、頭痛などで発症し、その後、意識障害、奇異行動、痙攣などが出現します。

病原体が多様なため全体としては単一の疫学パターンを示しませんが、特定の原因が関係したアウトブレイクも時にみられます。近年冬のインフルエンザシーズンに一致して増加する傾向が認められており、夏季には、エンテロウイルス71型による手足口病の流行時に発生した事例があります。

予防には、ワクチンのある疾患はワクチン接種、ワクチンのない疾患には個々の病原体伝播経路に応じた対策が必要です。(参考:IDWR「感染症の話」)

2006~2013年の年間患者報告数は年により変動し、国内では93~526人、県内では1~4人となっています(表)。2014年は、第4週に県内の3保健所管内から3人報告されています。

表 年別患者報告数 (人)

年	県内	全国
2006	3	93
2007	2	228
2008	1	190
2009	4	526
2010	2	241
2011	3	258
2012	3	371
2013	4	358

## V 県内インフルエンザ情報

第5週の患者報告数は、1,962人で、迅速診断キットによる型別はA型704人、B型1,177人、不明81人でした。

**警報レベル開始基準値：30人/定点、警報終息基準値：10人/定点、注意報基準値：10人/定点**

(※ 警報注意報基準値は保健所ごとの定点あたり報告数が基準となっています。)

### 保健所管内別届出人数 (人)

週	49	50	51	52	1	2	3	4	5
保健所名									
東地方					2	2	4	4	8
弘前	1	1	2	6	6	4	12	84	147
八戸	2	1	19	39	35	95	236	740	877
五所川原				1	3	4	15	60	65
上十三	1		7	8	17	39	97	312	627
むつ			1			13	26	89	108
青森市		12	21	12	14	16	22	84	130
合計	4	14	50	66	77	173	412	1373	1962

### A型 (迅速診断キットによる型別です)

週	49	50	51	52	1	2	3	4	5
保健所名									
東地方					1	2	4	4	3
弘前	1	1		3	3	3	11	54	116
八戸			9	15	16	50	92	258	262
五所川原				1			10	33	34
上十三			6	2	8	20	46	100	112
むつ			1			11	24	71	79
青森市		12	20	10	12	12	19	66	98
合計	1	13	36	31	40	98	206	586	704

### B型 (迅速診断キットによる型別です)

週	49	50	51	52	1	2	3	4	5
保健所名									
東地方					1				5
弘前			2	3	3	1	1	25	31
八戸	2	1	8	23	18	44	142	447	566
五所川原					3	4	4	26	31
上十三	1		1	6	9	17	50	202	489
むつ						2	2	18	29
青森市			1		2	3	3	8	26
合計	3	1	12	32	36	71	202	726	1177

### 年齢区分別

週	49	50	51	52	1	2	3	4	5
～5ヶ月							1	2	3
～11ヶ月			1		3	4	4	18	15
1歳			3	1	2	14	21	45	62
2歳			4	1	2	7	19	50	70
3歳		1	4		2	8	14	53	71
4歳		2	5	3	2	11	23	59	108
5歳		6	6	6	5	8	35	70	91
6歳		1	3	4	4	9	23	73	114
7歳			1	3		4	21	98	120
8歳			2	2		7	13	98	139
9歳		1	2	7	2	3	16	79	135
10～14歳			6	20	10	11	71	354	515
15～19歳	3	1	1	1	1	12	21	92	84
20～29歳	1		3	4	14	12	14	36	56
30～39歳			3	5	7	9	36	88	108
40～49歳			4	6	4	11	33	46	106
50～59歳		2	1	1	4	14	21	43	71
60～69歳			1	1	5	13	9	31	45
70～79歳				1	7	7	11	21	32
80歳以上					3	9	6	17	17

VI 保健所管内別全数把握疾患発生状況

2013年第42週～2014年第5週

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
42	H25.10.14 ~ H25.10.20					腸管出血性大腸菌感染症2人	
43	H25.10.21 ~ H25.10.27		つつが虫病1人				
44	H25.10.28 ~ H25.11.3		腸管出血性大腸菌感染症1人	梅毒1人			
45	H25.11.4 ~ H25.11.10					つつが虫病2人	
46	H25.11.11 ~ H25.11.17			腸管出血性大腸菌感染症1人 急性脳炎1人			
47	H25.11.18 ~ H25.11.24		クロイツフェルト・ヤコブ病1人				
48	H25.11.25 ~ H25.12.1	つつが虫病1人	急性脳炎1人				
49	H25.12.2 ~ H25.12.8						
50	H25.12.9 ~ H25.12.15			アメーバ赤痢1人	レジオネラ症1人		
51	H25.12.16 ~ H25.12.22						
52	H25.12.23 ~ H25.12.29						
1	H25.12.30 ~ H26.1.5						
2	H26.1.6 ~ H26.1.12	侵襲性肺炎球菌感染症1人					
3	H26.1.13 ~ H26.1.19		アメーバ赤痢1人	レジオネラ症1人			
4	H26.1.20 ~ H26.1.26		急性脳炎1人	急性脳炎1人	急性脳炎1人		
5	H26.1.27 ~ H26.2.2						

VII 結核(二類全数把握疾患)

2013年第50週～2014年第5週

単位：人

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
50	H25.12.9 ~ H25.12.15		2	1			
51	H25.12.16 ~ H25.12.22	3	2	1			
52	H25.12.23 ~ H25.12.29	3	2	2	1	1	
1	H25.12.30 ~ H26.1.5						
2	H26.1.6 ~ H26.1.12	1	1	2			1
3	H26.1.13 ~ H26.1.19	1		3	1	1	
4	H26.1.20 ~ H26.1.26	1					
5	H26.1.27 ~ H26.2.2	2	1				

VIII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国

(2014年第1週～第3週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	E型肝炎	A型肝炎	オウム病	つつが虫病	テング熱	マラリア	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎	侵襲性肺炎球菌感染症
累積報告数	750	4	20	2	2	6	1	13	5	5	54	2	30	9	20	2	6	13	37	16	3	116

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	ハンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん
累積報告数	4	41	6	2	17	25

青森県

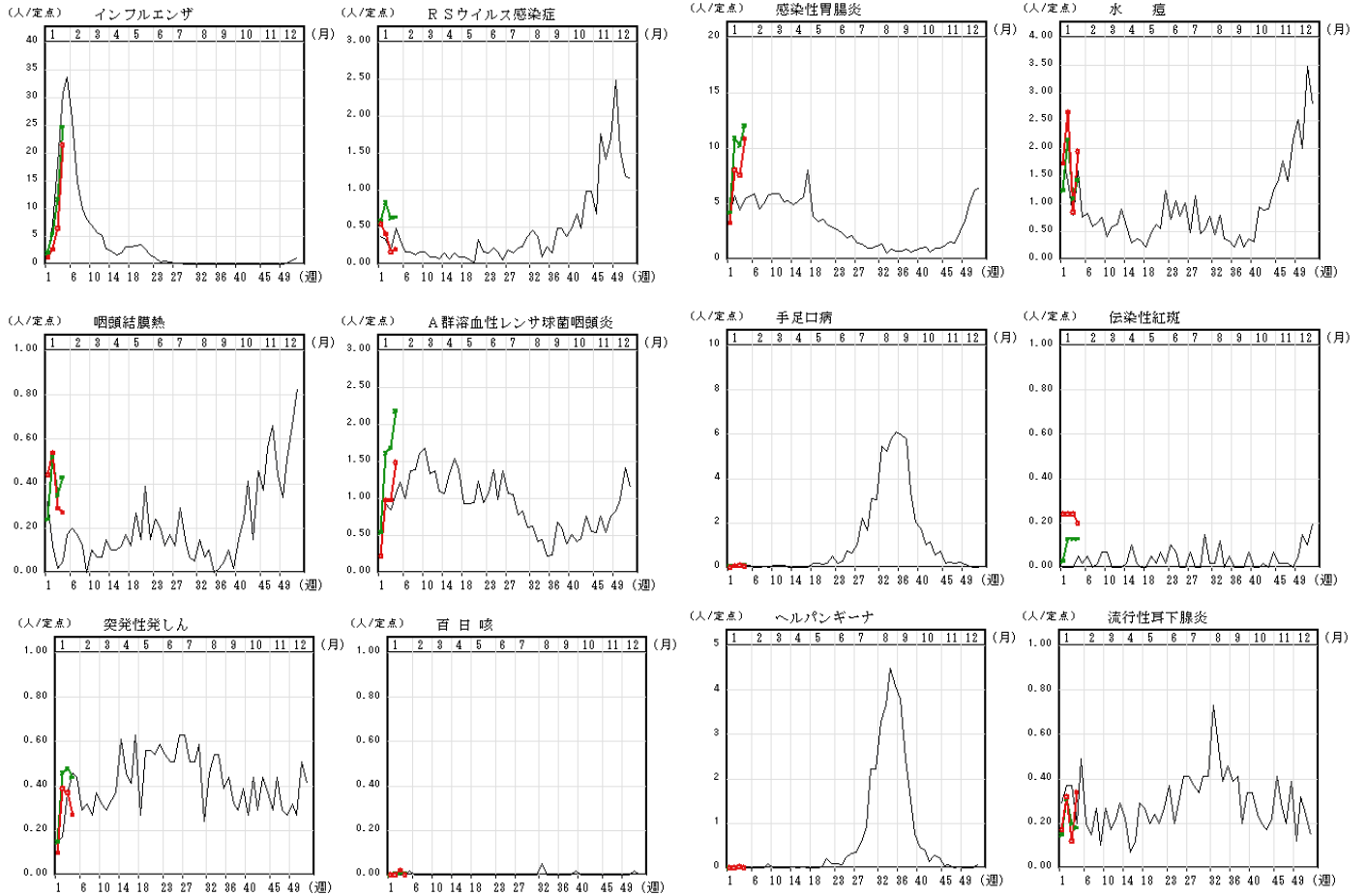
(2014年第1週～2月3日16:30累計)

分類	二類	四類	五類	五類	五類
疾病名	結核	レジオネラ症	アメーバ赤痢	急性脳炎	侵襲性肺炎球菌感染症
累積報告数	15	1	1	3	1

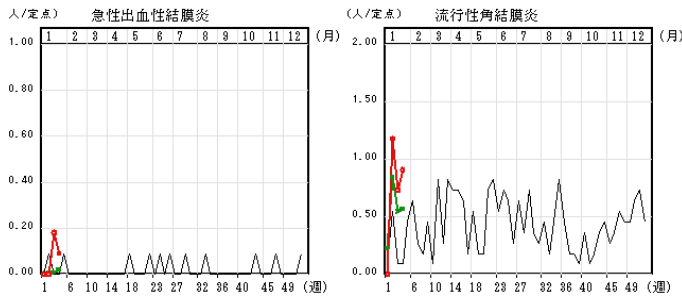
IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

2014年第4週

グラフの説明 ○—○は2014年青森県、—は2013年青森県、×—×は2014年全国



X 眼科定点把握疾患週別推移 2014年第4週



XI 基幹定点把握疾患週別推移 2014年第4週

